

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

1．実施した計画の基本的な事項

（1）基礎情報

ア．対象地域

構成市町村等名	山口市						
地域内総人口（人）	192, 692						
地域総面積（km ² ）	1, 023. 23						
地域の要件	人口	面積					
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ．計画実施期間

開始年月日	平成30年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	7年

（2）対象地域における取組みに関する事項

ア．ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

現計画では、防府市と同じ広域ブロックに属しているが、施設を集約化していない。現在、令和9年度の集約化計画の策定に向けて、山口県廃棄物広域対策協議会において、新たな広域化ブロック割を検討中である。	
確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	山口県ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化計画

イ．プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		
プラ要件化対象事業の実施		○
備考		

ウ．対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	①全ての構成市町村で導入済
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ．対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	①構成市全てで策定済
策定済の構成市（計画の名称）	
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		平成28年度	令和7年度	令和7年度	実績/目標
①総人口（人）		192,692	184,308	184,658	
排出量	事業系ごみ排出量（トン）	26,441	23,291	23,725	86%
	生活系ごみ排出量（トン）	47,069	42,429	41,233	126%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	553	505	517	75%
	その他排出量（集団回収等）	1,523	1,655	548	-739%
	総排出量（トン）	75,033	67,375	65,506	124%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	1,067	1,002	972	146%
再生利用量	総資源化量（トン）	23,291	23,201	21,578	67%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	31%	34%	33%	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）	2,654	2,120	3,079	-100%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	4%	3%	5%	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWH）	13,134	22,486	19,773	
	年間の熱利用量（GJ）	47,282	80,950	71,183	
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成28年度現状		令和7年度目標		令和7年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	119,918人	62.2%	126,530人	68.7%	127,361人	69.6%
	農業集落排水施設等	9,048人	4.7%	8,225人	4.5%	7,963人	4.4%
	合併処理浄化槽等	46,160人	24.0%	38,025人	20.6%	35,850人	19.6%
	小計：汚水衛生処理人口	175,126人	90.9%	172,780人	93.8%	171,174人	93.6%
	単独処理浄化槽等	2,628人	1.4%	1,722人	0.9%	2,094人	1.1%
	非水洗化人口	14,938人	7.8%	9,806人	5.3%	9,690人	5.3%
	小計：未処理人口	17,566人	9.1%	11,528人	6.3%	11,784人	6.4%
	合計：総人口	192,692人	100.0%	184,308人	100.0%	182,958人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	15,699キロリットル		10,977キロリットル		10,842キロリットル	
	浄化槽汚泥量	43,016キロリットル		42,300キロリットル		42,893キロリットル	
	合計	58,715キロリットル		53,277キロリットル		53,735キロリットル	

3 目標達成に向けた施策状況

目標指標	目標達成への施策状況
ア. 一般廃棄物の排出量に関する事項	事業系ごみの減量化に向けて、大規模事業所に「廃棄物の減量及び適正処理計画書」の提出を義務付けて確認を行った。また、各事業所へ隔年で分別に関する啓発パンフレットを配布し、処理施設で搬入物検査を実施して、適正排出の指導を適宜行った。生活系ごみの減量化に向けて、ごみ収集カレンダーや各種広報媒体にて分別ルール の周知やリサイクルの推進に関する啓発活動を行った。
イ. 一般廃棄物の再生利用量に関する事項	平成30年4月に分別アプリ「さんあ〜る」を導入した。令和2年度に小型充電式電池、ボタン電池、電子たばこの拠点回収、パソコン等の小型家電の宅配便回収を開始した。令和5年度から分別収集したペットボトルの一部において、水平リサイクルを開始した。また、資源物を24時間いつでも持込可能な資源物ステーションを管理し、排出機会の充実に取り組んだ。
ウ. 一般廃棄物の最終処分量に関する事項	ごみの減量化、リサイクルの推進、並びに適正排出に関する啓発を行った。また、処理施設で適正処理に努め、再資源化を行って最終処分量を抑制した。
エ. 一般廃棄物のエネルギー回収量に関する事項	国内で電力がひっ迫する時期（夏季：7～9月、冬季：12月～2月）に最大発電を行うためエネルギー回収施設の「定期整備時期を変更」するとともに、施設起動時は早期に発電するため「運転開始時間の見直し」を行うことで、エネルギー回収に努めた。
オ. 処理形態別人口に関する事項	公共下水道の整備を行った。 循環型社会形成推進交付金を活用し、合併処理浄化槽の設置を推進した。
カ. し尿・汚泥の量に関する事項	公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置を推進した。
その他	

4 目標の達成状況に関する評価

(一般廃棄物の処理) ①排出量について 事業系ごみについては、目標の23,291tに対し、実績が23,725tであり、減少傾向にあるものの目標を達成することができなかった。 生活系ごみについては、目標の42,429tに対し、実績が41,233tであり目標を達成した。 1人1日当たりのごみ排出量については、目標の505g/人日に対し、実績が517g/人日であり、目標を達成することができなかった。 集団回収による排出量については、目標の1,655tに対し、実績が548tであり目標を達成することができなかった。 総排出量及び1人1日当たりの排出量については、いずれも目標を達成した。 ②再生利用量について 総資源化量については、目標の23,201tに対し、実績が21,578tであり、目標を達成することができなかった。 総排出量に占める総資源化量の割合も33%であり、目標を達成することができなかった。 ③最終処分量について 埋立最終処分量については、目標の2,120tに対し、実績が3,079tであり目標を達成することができなかった。 総排出量に占める埋立最終処分も割合も5%であり、目標を達成することができなかった。 ④エネルギー回収量について 年間の発電電力量については、目標の22,486MWhに対し、実績が19,773MWhであり目標を達成することができなかった。 ⑤熱利用量について 年間の熱利用量については、目標の80,950GJに対し、実績が71,183GJであり目標を達成することができなかった。 (生活排水の処理) ①処理形態別人口について 公共下水道については、目標を達成した。 しかし、農業集落排水施設等については、人口減少が進んだことで、目標を下回った。 また、単独処理浄化槽等から公共下水道及び合併処理浄化槽への切り替えが想定より少なく、汚水衛生処理人口が目標を達成することができなかった。 ②し尿・汚泥の量について 汲取りし尿量については、近年4%弱で減少しており目標を達成した。 浄化槽汚泥量については、増減があるものの横這いであり、目標値より僅かに多かった。
(都道府県知事の所見) 【ごみ処理】 生活系ごみの排出量は目標達成しているものの、事業系ごみの排出量が目標未達成であった。未達成の項目についてはその要因等を踏まえて、達成に向けた方策を検討すること。 未達成の項目については、その要因等を踏まえて、達成に向けた方策を検討すること。 【生活排水処理】 全体の汚水衛生処理率は向上しているものの、合併処理浄化槽への切り替えの想定が少なく、合併処理浄化槽等および汚水衛生処理人口が目標を達成できなかった。 今後も、引き続き目標達成に向け、方策を進めること。